

## レポート（第1回）課題

受講生は3名程度のグループに分かれ、以下のいずれかの課題に取り組み、ポリシー・ブリーフィング・メモを作成して、授業で30分程度（質疑応答）のプレゼンテーションをしてもらう。

メモは500～1000字程度の executive summary と A4判4～8枚程度の本文・図表から構成される。多忙な政策決定責任者に対して、とるべき選択肢を的確かつ説得的に示すことが目的。

### 【日程】

5月18日（水）にグループ編成

6月6日（月）と8日（水）にプレゼンテーション

### 【課題】

（1）わが国では社会保障にいくら使っているのか？

ILO基準、OECD基準、SNA、財政統計に見られる数値を比較して、その性質の違いを明らかにした上で、もし1つの数値をとるとすれば、何が適切かを提示しなさい。

（2）第3号被保険者の年金問題はどのように解決すべきか？

「女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会」と「社会保障負担等の在り方に関する研究会」の報告書を読み、論点を整理した上で、何らかの選択肢を提示しなさい。

（2つの報告書は、<http://www.mhlw.go.jp/shingi/0112/s1214-3.html>，  
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/07/h0725-2.html> で入手可能）

（3）年金と貯蓄はどのような関係にあるのか？

Kohl, Richard, and Paul O'Brien (1998), "The Macroeconomics of Ageing, Pensions and Savings: A Survey," OECD (<http://www.oecd.org/dataoecd/34/51/1864981.pdf>) を読み、論点を整理した上で、OECD 諸国について公債の中立命題の実証分析に取り組みなさい。

（4）年金の未納・未加入問題にどう対応するのか？

「保険料を払わないと給付が削減されるから問題ない」という考え方に反論した上で、行政当局が未加入者をどう把握しているのかを整理した上で把握の改善方法を示し、さらに未加入対策の方法を提示しなさい。